

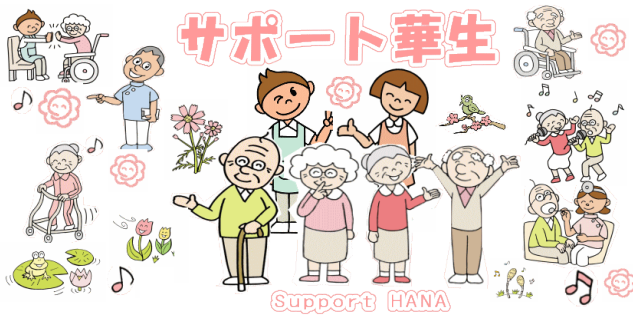
ならチャレンジレター 第3号

奈良県では、福祉・介護人材の確保を目的として、平成28年12月から「奈良県福祉・介護事業所認証制度」の運用を開始しました。職員の人材育成や処遇向上等につながる基準をクリアした福祉・介護事業所を知事認証し、公表する制度です。学生や求職者の方が、知りたい情報を随時閲覧でき、福祉・介護の仕事を選択でき、安心して就職できる事業所を広く紹介してまいります。

チャレンジ事業所支援 活用先インタビュー

認証制度に出会ったきっかけは何ですか？

以前から「働きやすい職場」を目指していました。近年で重視されている「休暇」も確かに大切ですが、本質的な「働きやすさ」は、毎日の仕事の「やりがい・働きがい」が高まるような組織の仕組みづくりだと考えています。その意味でも、「何が働きやすさか？」を明らかにしたいと思い、奈良県の認証取得を目指しました。



手をつなぎ、ゆとりある暮らしを地域で！！

【法人名】特定非営利活動法人 サポート華生
【形態】訪問介護、通所介護、居宅介護支援等
【所在地】奈良県橿原市

チャレンジ事業所支援は活用できましたか？

奈良県のチャレンジ事業所支援を利用して、認証制度の取得に向けて準備しました。特に、どのような点がポイントかを明らかにできたので、無理なく認証制度を取得できました。今後は、認証制度をより活用していきたいと考えています。

認証取得に向けた準備はいかがでしたか？

地域交流には強みがあったため、その点で認証項目の半数以上は初めからクリアできる内容で、負担なく準備を進めることができました。一方で、規程類の整備など、コンプライアンスの面にはまだ課題があることがわかり、認証取得を機に見直しができました。

人材育成や働きやすい職場づくりを、どのように進めていますか？

研修を通じた人材育成を重視しています。本来は集合し、一人ひとりの表情を見ながら沢山研修を行い、職員の主体性を尊重し外部の実地研修にも参加させたいところですが、コロナ禍で難しい現状に直面しています。しかし、人材育成を止めてしまてはいけないと感じ、集合・外部研修の代わりに「介護保険」や「感染症」などのテーマについて、職員にレポートを書いてもらっています。現在では、WEB会議ツールの整備を進めており、今後人材育成ほかさまざまな面で活用をはかっていきたいです。

想い：「コロナ禍で考える、地域との新たなつながり」

開設時から、「地域で認められる事業所になりたい！」という想いを持って、利用者様のご支援や地域交流に励んでまいりました。昨今では、コロナの流行もあり、本当に地域交流が難しいと感じています。幸いにも、志の高いスタッフが多くいてくれることが強みだと考えています。「寄り添う」ことをコンセプトに、ますます「地域に開かれた事業所」を目指してまいります。

理事長 濱田 しま子

<チャレンジ事業所支援の流れ>

チャレンジ宣言



小規模事業所向け認証制度チャレンジ事業所に申請します。(別紙申出書によりお申出下さい)

県ホームページ掲載



奈良県のホームページに認証にチャレンジしている事業所である旨を掲載します。

無料初期診断・相談



専門家(県からの委託)がご訪問し、認証取得に向けた無料相談に対応します。

認証取得に向け準備



認証取得に向けた体制整備、制度の周知発信などに取り組んでいただきます。

認証取得



認証基準をクリアすることで、認証事業所となり、改めて県HPに掲載いたします。